

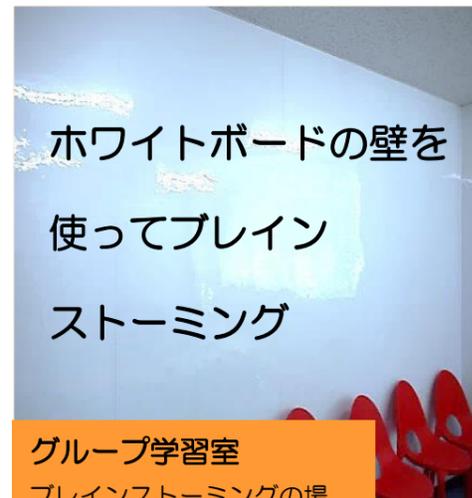
東京海洋大学附属図書館改修ポイント説明図

コンセプト『海を巡る知との出会いの場』—充実した勉学・研究の基盤となる学習環境を整備する—



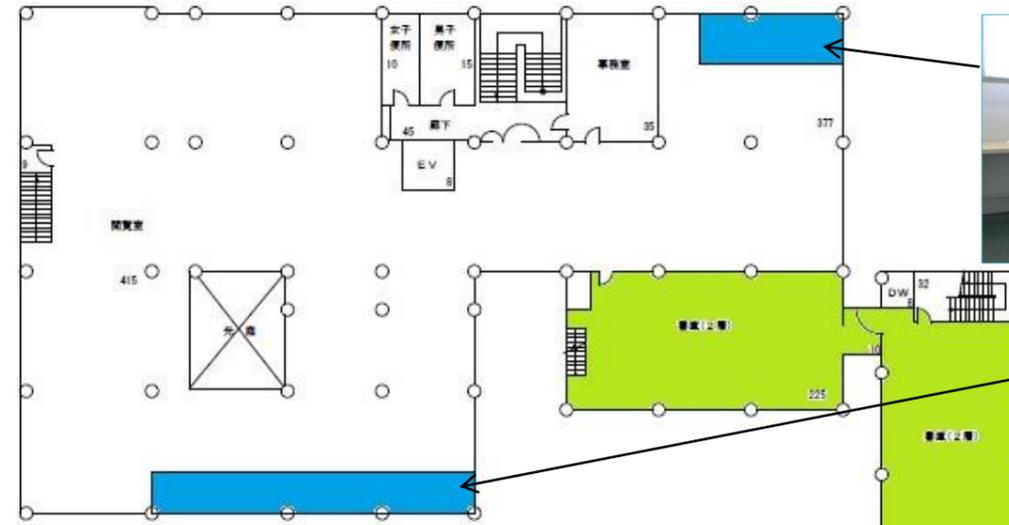
会話しながら学習できる
広い協働学習スペース

学びの広場（仮称） 協働学習の場
長年にわたり学生から根強い希望が寄せられていた会話しながら学習できる場が実現。授業、プレゼン練習、サイエンスカフェなどで利用できる。

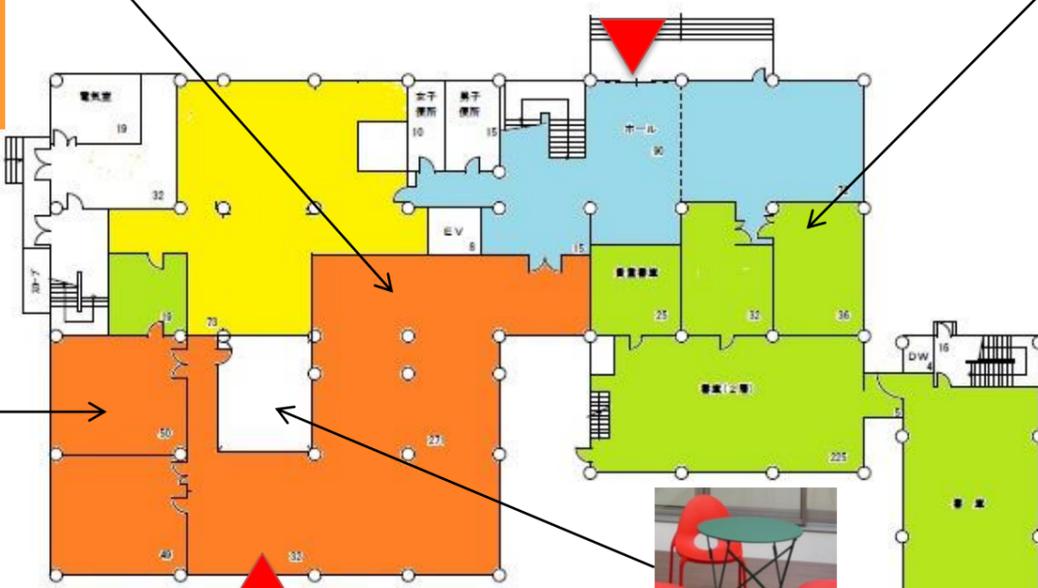


ホワイトボードの壁を
使ってブレイン
ストーミング

グループ学習室
ブレインストーミングの場。
三方の壁がホワイトボード仕様。プロジェクトで画像を投影しながらマーカーで書き加えることも可能。4月～6月は図書館主催の新ゼミ生向け文献検索ガイダンスの会場として利用。

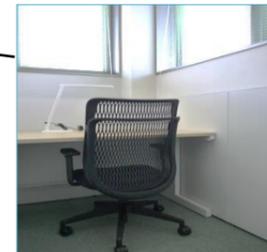


2階 静かに集中して学習・研究できる場



新しい出入口
学生の動線上に図書館が位置するよう新たな入口を設置。向かい合う生協の窓も透明ガラスに変更。

1階：話し合いながら学習できる協働学習の場。他の学生等の活動に接して知的好奇心が刺激される場。もともとは事務室、館長室、会議室、グループ学習室があったが、グループ学習室を残してすべて学生のためのスペースに転換した。



研究個室・個人用ブース席
学習・研究に集中できる個室。研究個室は学内者対象。1日3時間以内。



書籍の博物館：
アーカイブズ・ルーム

アーカイブズ・ルーム 海に関する貴重な書籍と本学の教育研究活動により産み出される成果を集めて公開している書籍の博物館。公募企画競争の結果、各社の提案を7名の選定委員が採点し最も高得点だったところにデザイン・施工を依頼。



光庭 館内で唯一飲食可能な場所。図書館での長時間の滞在が可能に。



学習・研究を支える
移動式書架

移動式書架 学習・研究を支えるバックヤード。従来の固定書架を移動式書架に変え、収容能力は約32,000冊から1.7倍の約54,000冊に増加。この導入に合わせて重複資料廃棄基準も作成した。書棚は空間を最大限使えるよう、A4サイズ8段の書架構築のために何度も検討を重ね、仕様書策定委員会を重ねた。工事に際しては床補強を行うため資料をいったん全部出し、図書館を含む学内5か所に分散保管した。